

真室川 仕事見聞録

Vol.14

～働く現場へ突撃インタビュー!!～



マルコウ自動車整備工場

今回は、昭和58年に創業し、約40年に渡って地域に根差した活動をされている「コーヒの香り」と音楽の流れている「マルコウ自動車整備工場」にこの協力をいただき、働く方にインタビューしました。

Q. 就職したきっかけはなんですか？

斎藤 専門学校卒業後に地元に戻って自動車整備の仕事を続けていたのですが、前の工場長が退職なさるタイミングがきつかけで色んな方と相談し就職しました。

佐藤 中学生の時にインターンシップでマルコウ自動車整備工場にお世話になりました。前の職場を辞めた際に社長から声をかけていただいたので就職を決めました。



タイヤの組換え作業

Q. 仕事をするうえで気を付けていることはありますか？

斎藤 車は人の命を乗せるものです。お客様の安全を担っているつもりで整備ミスが無いよう作業管理を徹底しています。

ます。

佐藤 お客様の安心・安全を念頭に置いていきます。また、車両はお預かりしたときよりも綺麗にしてお返しできるように心がけています。



下回りを入念にチェック

Q. 仕事を通して地域とどのような関わりが来ていますか？

斎藤 真室川で車は必要不可欠なものなので本当に色々な方とお話しする機会をいただいています。車以外の話題で盛りあがることも多く、お茶飲みみに寄ってくださる方もいます。

佐藤 同世代だけでなく幅広い年代の方々とお付き合いをさせていただいています。また、同業の方々からも親切にしてください、困ったことがあると知恵を貸してもらったり助け合える関係性を築いてもらっています。

Q. 将来のために今、心がけていることはありますか？

斎藤 若い新規のお客様が少

なくなり、廃車になさる方が増えていると少子高齢化が地域で進んでいるなど実感しています。私たちで出来るアクションはないか模索しています。

佐藤 最近の車両はコンピュータ制御を多用し一段とハイテクになり専門的な知識が求められるようになってきました。常に色々な情報を触れていきたくたいです。



マルコウ自動車整備工場

真室川町大字新町781-9
代表:斎藤 哲也

※「事業所をPRしたい」といったお考えをお持ちの方は、ぜひ町企画課までご連絡ください。



佐藤 翔太さん

斎藤 光樹さん



選出・講評 「大雪も融け始め春の訪れを感じる季節となりました！これから沢山の生きものや植物に会えるのが楽しみです！」

by NY(神室産業高校真室川校3年生・ペンネーム)

#白鳥 #写真好きな人と繋がりたい
ID: kingyoking Date: 3/13



第七三回

4月の真室川は彩りの洪水。まるで雪に閉ざされていた3か月を取り戻すかのよう。雪が白いほど、あふれ出てくる彩りは鮮やかに見えるのかも。

「フォトジェニックまむろ」への参加は、写真投稿型SNSのInstagramに#photogenicmamuroのハッシュタグを付けて投稿するだけ。皆様の投稿をお待ちしています。